

令和元年度第1回大竹市地域公共交通活性化協議会 記 録 票

日 時 : 令和元年6月18日(火)14時40分～
場 所 : 大竹市役所 屋外多目的室
出席委員 : 別紙 委員名簿のとおり

1 開 会

人事異動等に伴う新任委員の紹介

会長あいさつ

2 議 事

(1) 平成30年度事業経過報告及び平成30年度会計収支決算報告について

○【事務局】 資料1, 3, 4により事業経過報告

○【事務局】 資料2により収支決算報告

○【監査委員】 監査報告

○質疑等

【委員】 事業主体が協議会から市に移って何が変わったのかよくわからない。

【会長】 運行主体としての責任の所在が協議会から市に移った。

【事務局】 運行に係る予算が市に移った。

その他質疑等 : なし ⇒ 承認

(2) 坂上線バスの運行計画の変更について

○【事務局】 資料5により説明

防鹿地区の管渠布設工事に伴い、運行ルートである市道防鹿1号線が車両通行止めとなるため、国道186号(現在の市道防鹿4号線)を迂回路に設定していた。工事の全体計画は平成27年3月から平成32年2月末までの5年間であったが、今年3月末に全ての工事が完了した。そのため通常運行ルートに戻っている。従って、迂回路の運行システムの廃止手続きを行う。

○質疑等

【委員】 迂回路のシステムだけを廃止するものか。

【事務局】 工事終了に伴い不要となったシステムを廃止する手続きを行う。

その他質疑等 : なし ⇒ 承認

(3) 消費税及び地方消費税改正に伴う坂上線の運賃(大竹区域除く)について

○【事務局】 資料6-1, 6-2により説明

岩国市は、坂上線のほか岩国市内を運行する他の路線バスについては、消費税率の引上げに伴い、運賃を改定する。大竹市内での移動については運賃に変更はないが、大竹市内から岩国市美和町への移動、またはその逆の移動については、運賃が値上げになるところがある。

岩国市においては、今年5月22日開催の岩国市地域公共交通会議で審議され、

承認されている。

○質疑等 : なし ⇒ 承認

3 その他

○質疑等

【委員】 網計画にある事業のスケジュールや取組みは今後の協議会で示すのか。

【事務局】 今後協議会に示す。

【会長】 大竹市では運転免許証自主返納は増えているのか。

【委員】 増えている。昨年は 100 人を超えた。

【会長】 運転免許証自主返納の支援について、市は何か考えていないのか。

【委員】 運転免許証保有者が免許証を返納するから、その人だけにサービスすることは、考え方として不公平感がある。今まで自由度が高かったものが少し不便になる。そのことに対してフォローしてあげることと福祉の施策とは少し違う。問題点があるので取り組むところに至っていない。

【委員】 運転者不足で何か手を打たないといけないという思いがある。こいこいバスと大竹栗谷線の運行時間（便数、休憩時間など含む）の変更、給与等の変更など総合的なアプローチが必要となっている。

【会長】 人手不足はどこも深刻である。

【委員】 特に過疎地域で、数年後には地域公共交通で行っていることができなくなるかもしれない。大竹では旅客運送に関わる人の平均年齢は 60 歳以上になる。65 歳でも若い位で、何れは免許証を返納しないといけない人がいるような現状である。

（事務局より）

- ・ 今夏、坂上線に新しいバスが導入される予定。バスは、こいこいバスと同じ型（日野ポンチョ：定員 33 人）。
現在、車両の変更に伴い、一般乗合旅客自動車運送事業の事業計画変更認可申請書などの準備や、車両設備の調整などを進めている状況。
- ・ こいこいバスの恵川橋バス停（大竹駅行き）は移設困難のため、平成 30 年 10 月 1 日に廃止。廃止後、利用者や地域の方から復活を望まれる声があった。
現在、廃止場所から恵川橋側約 40m の路肩を移設先候補として、幹線交通検討分科会で協議し、大竹警察署長に交通安全上の意見照会を行っている状況。

4 閉会